

科目区分	専門教育科目	科目名	社会福祉		科目コード	18Y450	担当者	荒木 正平			
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	後期	単位数	2	担当形態	単独			
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等			卒業要件		必修			
						免許・資格要件		保育士必修			
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
児童福祉の専門職として、社会福祉の理念や法制度、相談援助技術の考え方等を学び、福祉の基本的な知識・姿勢を修得する。						1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力		2. 「 創造 」 高度な知性と創造力		3. 「 実践 」 明確な意思と実践力	
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表思考・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	社会福祉の基本的な考え方と歴史、その役割を理解する。					○	○	◎	○		
2.	社会保障・社会福祉に関する制度の概要を理解する。										
3.	相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法について、基礎的理解を深める。										
4.						○	○	◎	○		
5.						成績評価の方法と割合					
授業方法						定期試験（60%） 提出物（20%） 受講態度（20%）					
講義を基本とするが、社会状況や動向などについても、配布資料や視覚教材等を使用しながら、自分の問題として具体的に考えられるようにする。											
準備学修						課題等への対応					
授業計画に掲げる主題に対し、事前に教科書を読んでおくこと。日頃から福祉に関する書籍を読んだり、新聞に目を通すなど社会状況に関心を持つこと。通常の学習時間は毎回30分程度とするが、課題や試験等には相当の時間を確保すること。						提出物は内容確認のうえ授業時に紹介するなどし、学生間での認識の相違に対する関心を促す。確認後は学生に返還し、理解がより深まるように支援する。					
授業計画											
第1回	社会福祉を学ぶ意味										
第2回	現代社会と生活課題										
第3回	社会福祉の考え方と役割										
第4回	社会福祉のあゆみ										
第5回	生活を守る社会保障制度（社会保障の体系）										
第6回	社会福祉の制度・法体系①（社会福祉法、福祉サービスの利用方法）										
第7回	社会福祉の制度・法体系（高齢者福祉の法制度、障害者福祉の法制度）										
第8回	社会福祉の実施機関と行財政 社会福祉の施設										
第9回	子どもの人権と児童家庭福祉										
第10回	社会福祉の専門職と倫理										
第11回	相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法①										
第12回	相談援助（ソーシャルワーク）の意味と方法②										
第13回	福祉サービスの利用支援 権利擁護・苦情解決のしくみ										
第14回	地域福祉の理念、他分野との連携とネットワーク										
第15回	社会福祉と保育士のこれからを考える										
試験	定期試験を実施する										
教科書	教科書 「保育と社会福祉」 編集；橋本好市・宮田徹 出版；（株）みらい				受講生へのメッセージ		保育士は社会福祉の専門職です。社会福祉の基本をしっかり学びましょう。				
参考書等	なし										